

みずほCustomer Desk Report 2022/11/29 号 (As of 2022/11/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	139.11 AUD/USD
TKY 9:00AM	139.36	1.0368	144.52	1.2060	0.6715
SYD-NY High	139.42	1.0497	144.97	1.2118	0.6728
SYD-NY Low	137.50	1.0330	143.05	1.1942	0.6643
NY 5:00 PM	138.91	1.0340	143.65	1.1958	0.6653

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,849.46	▲ 497.57	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	11,049.50	▲ 176.86	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,963.94	▲ 62.18	米国2年債	4.4433%	▲0.0227%
日経平均	28,162.83	▲ 120.20	米国5年債	3.8724%	0.0034%
TOPIX	2,004.31	▲ 13.69	米国10年債	3.6784%	▲0.0112%
シカゴ日経先物	28,090.00	▲ 250.00	独10年債	1.9890%	0.0225%
ロンドンFT	7,474.02	▲ 12.65	英10年債	3.1235%	0.0085%
DAX	14,383.36	▲ 158.02	豪10年債	3.5480%	▲0.0420%
ハンセン指数	17,297.94	▲ 275.64	USDJPY 1M Vol	14.23%	0.57%
上海総合	3,078.55	▲ 23.14	USDJPY 3M Vol	12.81%	0.26%
NY金	1,740.30	▲ 13.70	USDJPY 6M Vol	11.93%	0.13%
WTI	77.24	0.96	USDJPY 1M 25RR	▲1.23%	Yen Call Over
CRB指数	272.92	▲ 0.33	EURJPY 3M Vol	12.07%	0.45%
ドルインデックス	106.68	0.72	EURJPY 6M Vol	11.76%	0.23%

東京	東京時間のドル円は139.36レベルでオープン。中国のコロナ政策に対する抗議活動や原油価格の下落を受けて豪ドル円を中心としたクロス円が売り優勢となり、ドル円も軟調に推移。仲値にかけて買い戻しもあったが、米金利低下の流れにドル売り優勢となり138.34まで下落。一服後も上値の重い展開となり、138.18まで下値を切り下げ、138.34レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は138.34レベルでオープン。市場はユーロ買いが優勢となり主要通貨に対して軒並みに顕著な上昇を示した。ドル円は、1円以上の値幅が伴ったものの、オープンとほぼ同水準の138.24レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は139円台半ばでスタートし、中国のゼロコロナ政策に対するデモ活動を背景にリスクオフの円買いが強まると138円台半ばまで下落。その後、対欧州通貨でのドル売りがドル円にも波及したこともあいまって、一時的に11/15安値の137.67を下抜け、137.50をタッチ。しかし、早朝にかけて米金利が下げ渋り、ドルも買い戻された結果、138円半ばまで反発後、138.24レベルでNYオープン。朝方はオープン前の流れを引き継ぎ、ドルが買い戻される展開。一方、クロス円が上値重く推移していたことから139円手前に伸び悩んだ。午後は139.00をタッチする場面もあったが、しっかり上抜けることはできず、結局、138.91レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.0400手前でスタート。アジア時間ではユーロ円の下落が重しとなり1.03レベル半ばまで下押しするが、欧州勢参入後はユーロの買い戻しが強まった。ECB理事会のクナツ氏の効率的なコメントもあいまって、早朝には1.0497まで上昇後、1.0474レベルでNYオープン。朝方はラガルドECB総裁が「インフレがピーク付けたの発言は控えろ」等のコメントが伝わるも市場は反応薄。早朝に1.05レベル乗せに失敗したことからユーロの見切り売りもみられる中、1.04レベルを割り込んだ。午後はじり安推移となり、1.0330まで安値を更新後、結局1.0340レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・多川

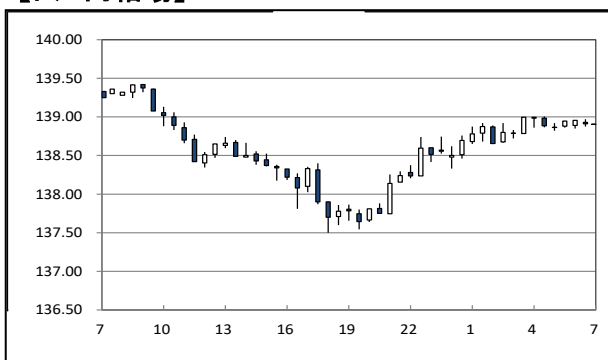
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月28日	17:00	欧 クナツ蘭中銀総裁 講演		「インフレ抑制には長い時間が必要」
	23:00	欧 ラガルドECB総裁 講演		「金利を恐らく景気抑制的な領域に引き上げる」
11月29日	02:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演		「来年のインフレ率、3～3.5%に減速すると予想」
	02:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演		「市場はFOMCがより積極的になるリスクを過小評価」

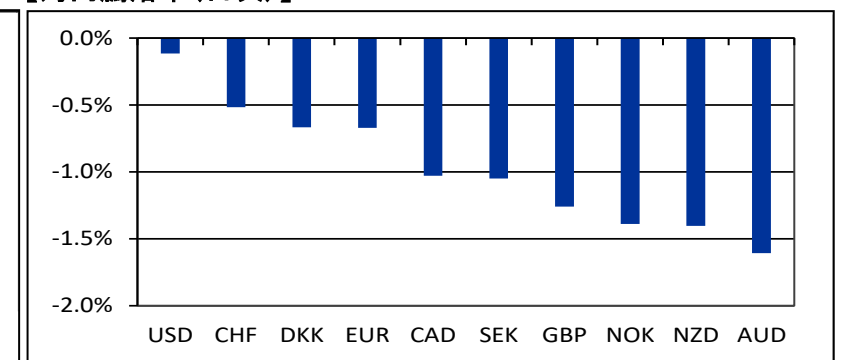
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月29日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	11月 -	-23.9
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	11月 -0.2%/10.4%	0.9%/10.4%
	23:00	米 FHFA住宅価格指数(前月比)	9月 -1.2%	-0.7%
11月30日	00:00	米 コンファレンス・消費者信頼感	11月 100.0	102.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.00-140.00	1.0300-1.0500	143.00-145.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下に行ってこいの相場。東京時間は139円台でオープンするも、中国のコロナ関連報道を受けたリスクオフにクロス円主導で下落。海外時間序盤にはEUR主導のドル売りが強まる中、ドル円はさらに下値を試し、一時137.50まで下落。ただ結局、NY時間にはFED高官の相次ぐタカ発言にドルが買い戻されるとドル円も139円付近まで上昇し、引け値ベースでは先週クローズとほぼ変わらずのレベルまで戻した。本日のドル円はもみあいの展開を予想。インフレピークアウト観測からFEDの政策転換が意識される中でドル円は上値重く推移しそうだが、明日のパウエルFRB議長講演を控えて様子見ムードが強まっていく展開となるだろう。FRB議長発言、今週の米指標を確認しないと方向感を見出しづらい。